

2024年「主要レジャー施設（テーマパーク）」価格調査

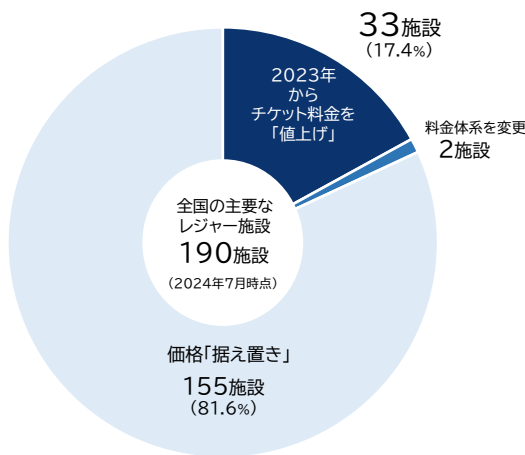
主要レジャー施設、約2割でチケット値上げ
「水族館」の入場料平均、初の2千円台 運営コスト増が要因

施設の維持管理コストは上昇続く 2025年以降も値上げ続く可能性

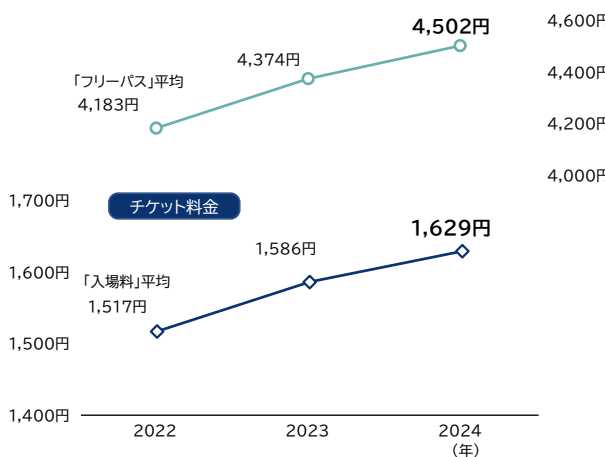
値上げの動きが「モノ」から「サービス」へと波及する動きが広がり、花火大会などコト消費にも「一部有料化」や「高額化」の動きが急速に広がっている。他方で、日本生命保険（大阪・中央）が実施したアンケート調査では、今年の夏休みについて予算を「減らす」と回答した人の割合が前年から増加し、「増やす」を上回るなど、娯楽に対する節約志向は強まる兆しを見せている。

こうした情勢を背景に、レジャー施設における2024年の値上げ施設数は前年から半減するなど、値上げの動きは鈍化した。ただ、電気代や人件費をはじめとしたコストアップを背景に「値上げに踏み切らざるを得ない」施設もあるなど、レジャー施設の値上げ圧力は引き続き高い傾向がみられる。2025年以降も、チケット料金改定に踏み切る施設が再び増加する可能性がある。

主要レジャー施設 値上げ動向



チケット料金 平均価格推移



[注] 変動料金制の場合はハイシーズン料金(最高値)を採用。
なお、フリーパスは入場料金を含む価格

- [注 1] 全国の主なレジャー施設（遊園地・テーマパーク・動物園・水族館）190 施設のチケット料金の価格動向について調査を行った
入場料 = チケット料金のうち、施設へ入場するために必須となる金額
フリーパス = チケット料金のうち、入場料に加え、別に設定される 1Day パス料金または入場料が設定されていない施設の回数券料金
- [注 2] 「遊園地」は、大規模な体験型アトラクション（遊具）を有するテーマパークを含む
- [注 3] 一部施設で料金体系が変更されたため、2023 年以前の価格を再集計した。修正後の数値は本調査データに反映されている

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

主要レジャー施設、約 2 割でチケット値上げ 高額化の動き鈍化 入場料平均は 1629 円

国内 190 の主要レジャー施設（遊園地・テーマパーク・水族館・動物園）のうち、2024 年に入場料などの「チケット料金」を値上げする施設は全体の 17.4%（33 施設）であることが判明した。前年（32.1%・61 施設）に比べて、チケット料金を値上げする施設数は半減した。チケット料金の値上げはせず、駐車場代やアトラクション用の追加アイテム料金などを値上げする動きもあるものの、総じてレジャー施設における値上げラッシュは前年と比較して沈静化の兆しがある。また、一部施設では実質的な子供料金の値下げや無料化に踏み切る動きもみられた。

価格改定前後のチケット料金をみると、チケット種別や施設ジャンルによって傾向が分かれた。2024 年におけるレジャー施設全体の「入場料」平均価格（大人 1 名）は 1629 円だった。23 年平均（1586 円）に比べ 2.7%・43 円上昇したほか、2022→23 年における価格差（69 円）に比べると上昇ペースは鈍化した。遊園地・テーマパークで多く導入されている「フリーパス」平均価格は 4502 円に上り、2022 年→23 年（+4.6%・191 円）に比べると上昇幅は 2.9%・128 円と鈍化した。しかし、「入場料」平均を上回った。変動価格制の導入が進み、特に 5 月のGW期間など大型連休に最高値を引き上げる動きが広がったことも、フリーパス料金の上昇が続いた要因となった。

なお、国内主要レジャー施設において 2024 年内に設定されたチケット料金の最高額は、東京ディズニーリゾート（TDR、千葉）の「1 デーパスポート」と、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ、大阪）の「1 デイ・スタジオ・パス」で、いずれも大人 1 日チケットが 1 万 900 円だった。

施設ジャンル別にチケット料金平均をみると、最も「入場料」平均が高いのは「水族館」の 2042 円となり、前年平均から 91 円上昇したほか、調査開始以降で初めて 2 千円を超えた。餌代のほか、電動ポンプや館内空調などに使用する電気代の高騰が影響し、引き続きチケット料金を引き上げる動きが目立った。「遊園地・テーマパーク」では 1570 円となり、前年平均から 22 円の上昇にとどまった。一方、最も低いのは「動物園」で、入場料の平均は 1381 円にとどまり、最高値の水族館に比べて 700 円近く安い水準だった。動物園でも飼料代の高騰など物価高の影響で厳しい経営を余儀なくされているものの、運営事業者が市町村など自治体・公営企業のケースが多く、機動的な値上げが難しいことも要因となっている。

施設ジャンル別 平均チケット料金

	チケット料金平均の推移		値上げ前後の価格差
	フリーパス	入場料	
遊園地・ テーマパーク	4,374円	1,548円	22円
	4,502円	1,570円	128円
水族館	2023年 ↓ 2024年	1,951円 ↓ 2,042円	91円
		1,347円 ↓ 1,381円	34円
動物園		1,586円 ↓ 1,629円	43円
レジャー施設 入場料平均			

【注】変動料金制の場合は、ハイシーズン料金(最高値)を採用。
なお、フリーパスは入場料金を含む価格

値上げ施設数 施設ジャンル別

